

JSCR Newsletter



日本糖質学会会報
JSCR Newsletter published by
The Japanese Society of Carbohydrate Research

第40回日本糖質学会年会の開催にあたって

第40回日本糖質学会年会

世話人会代表 鹿児島大学 隅田泰生

生命における糖鎖の重要性は想像を遙かに超えています。一方で、生命における糖質の謎もいまだに数多く存在し、糖質の科学的ポテンシャルはきわめて大きいものです。日本糖質学会は、このような糖質や複合糖質の生物学・化学・インフォマティックス、それらを基盤にした医療、創薬、生物工学、材料化学、産業応用にいたる研究を包含しています。近年の本領域の進展はめざましく、糖鎖機能の解明、難病と糖鎖構造の関連の解明、新しい技術革新を目指す研究が益々活発に展開されています。

本年会では、糖質学会会員による新しい成果が一般演題として公表されるとともに、先端研究者による講演会をはじめとする特別企画が開催されてきました。また、本年会は数多くの大学院生や博士研究員など若手研究者が目を輝かせて研究発表する場でもあり、優秀講演賞やポスター賞を授与することによって、将来の日本・世界の科学技術を背負う人材の育成にも力を注いできました。しかし、昨年の第39回年会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、誌上開催とせざるを得なくなりました。未だに、新型コロナウイルスの感染が広がっておりますが、オリンピックが終わって2ヶ月後の10月末には、終息に向かっていると思われます。そこで、本第40回年会は、[コロナ後の糖質研究：前へ！]という旗頭をたて、コロナ禍で世界が閉塞した状態から、糖質研究が先頭に立って研究・開発を活性化することを目的として開催いたします。発表者と評議員の皆様には、原則鹿児島に来ていただくことを想定しておりますが、加えてこの機会に糖質研究の裾野をさらに広げるために、対面での講演やポスターセッションをインターネットで同時中継するハイブリッド方式とすることにいたしました。例年、年会開催の時期は、台風シーズンも終わり、鹿児島では最も過ごしやすい気候が続く季節で、秋太郎（パシヨウカジキ）など旬の食材も多々あります。会員の皆様には、是非鹿児島へお越しいただき、最新の研究成果の討論や発表を通じて、糖質科学研究全般の発展へ貢献いただくとともに、研究者ネットワークを構築いただければ幸いです。

第 40 回日本糖質学会年会（鹿児島）

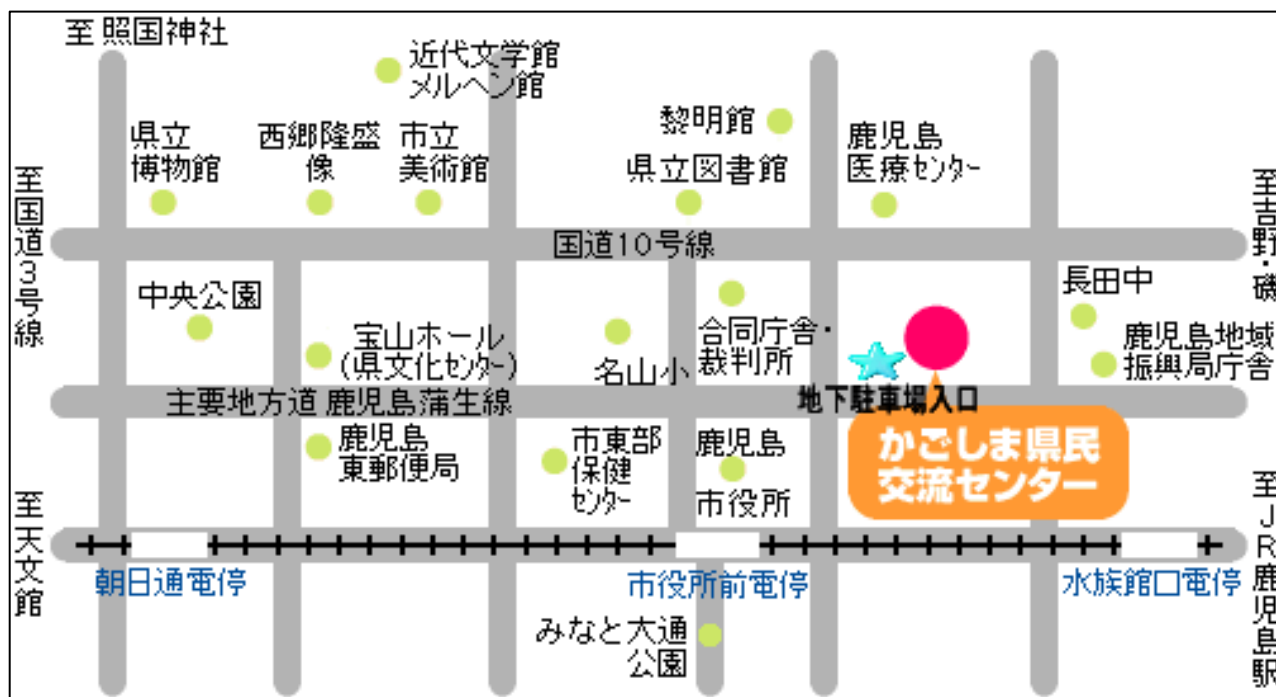
- 主 催 日本糖質学会
- 共 催 シアル酸研究会、シクロデキストリン学会、セルロース学会、日本栄養・食糧学会、日本応用糖質学会、日本化学会、日本キッチン・キトサン学会、日本植物生理学会、日本生化学会、日本生物工学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会、日本分子生物学会、日本薬学会
- 協 賛 高分子学会、日本再生医療学会、日本食品科学工学会、日本膜学会、有機合成化学協会
- 後 援 日本炎症・再生医学会、日本癌学会、日本基礎老化学会、日本ケミカルバイオロジー学会、日本脂質生化学会、日本神経科学学会、日本農芸化学会、日本免疫学会
- 会 期 2021 年 10 月 27 日（水）～10 月 29 日（金）
- 会 場 かがしま県民交流センター
〒892-0816 鹿児島市山下町 14 番 50 号
鹿児島市電「水族館口電停」下車 徒歩 4 分
- 参 加 費 日本糖質学会正会員：7,000 円<9,000 円>
日本糖質学会学生会員：2,000 円<4,000 円>
一般：9,000 円<11,000 円>
一般学生:3,500 円<4,000 円>
< >内は 2021 年 9 月 15 日以降申込の金額です
- 評議員会 2021 年 10 月 6 日（水）～8 日（金） オンライン（メール審議）
- 総 会 2021 年 10 月 9 日（土）～10 日（日） オンライン（メール審議）
- 懇 親 会 コロナ禍の影響のため、計画できませんでした。短時間でのミキサーなどが可能になれば
年会 HP でご案内します。

会場へのアクセス

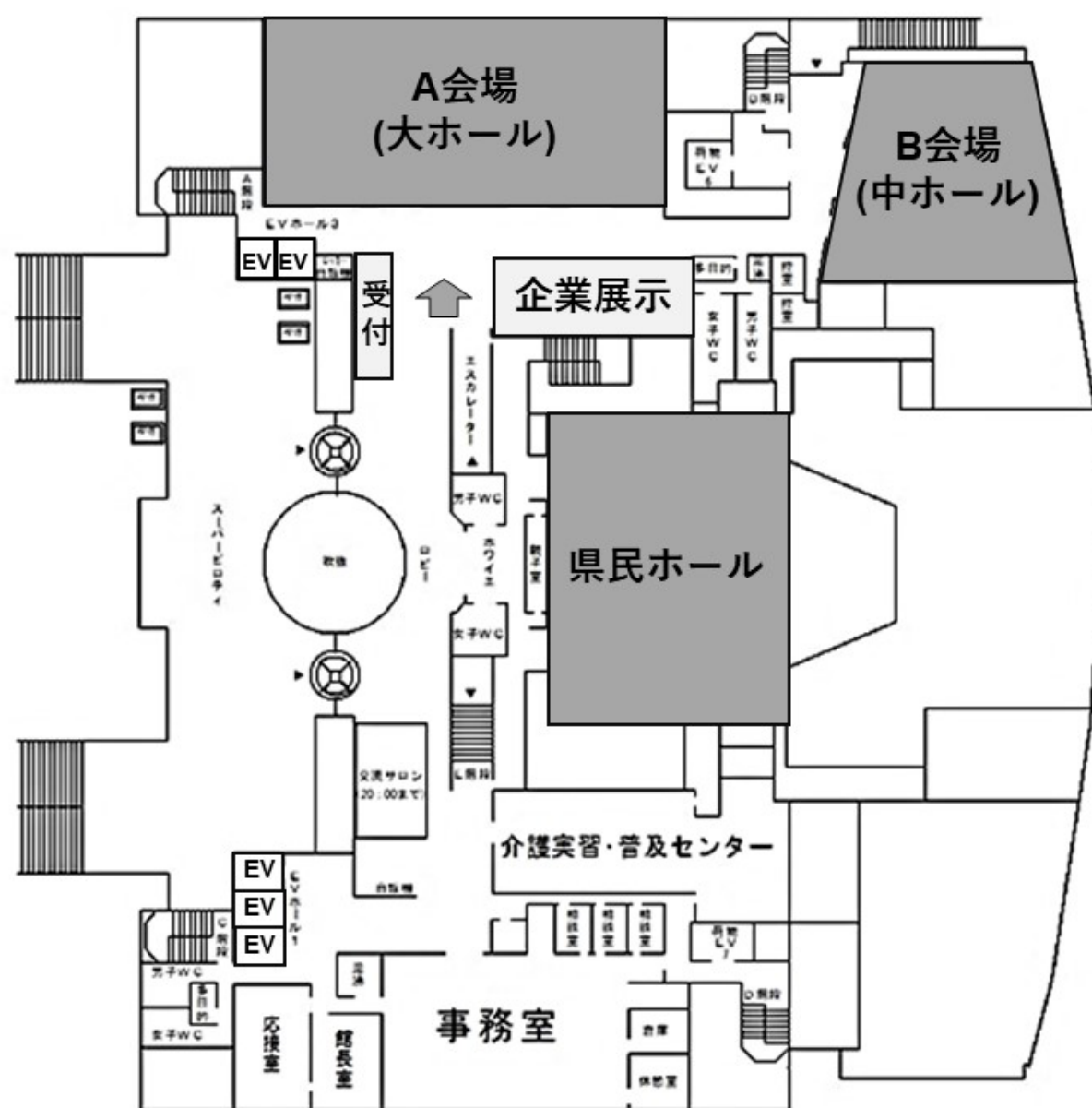
交通アクセス

- ・「鹿児島空港」 → 高速・連絡バス「JR 鹿児島中央駅前」まで約 40 分
→ 高速・連絡バス「天文館」まで約 50 分
- ・「JR 鹿児島中央駅前」 → 鹿児島市電「水族館口」まで約 15 分、下車 徒歩 4 分
- ・「JR 鹿児島中央駅」 → JR「鹿児島駅」下車 徒歩 10 分
- ・「JR 鹿児島中央駅」 → バス「水族館口」下車 徒歩 5 分

MAP

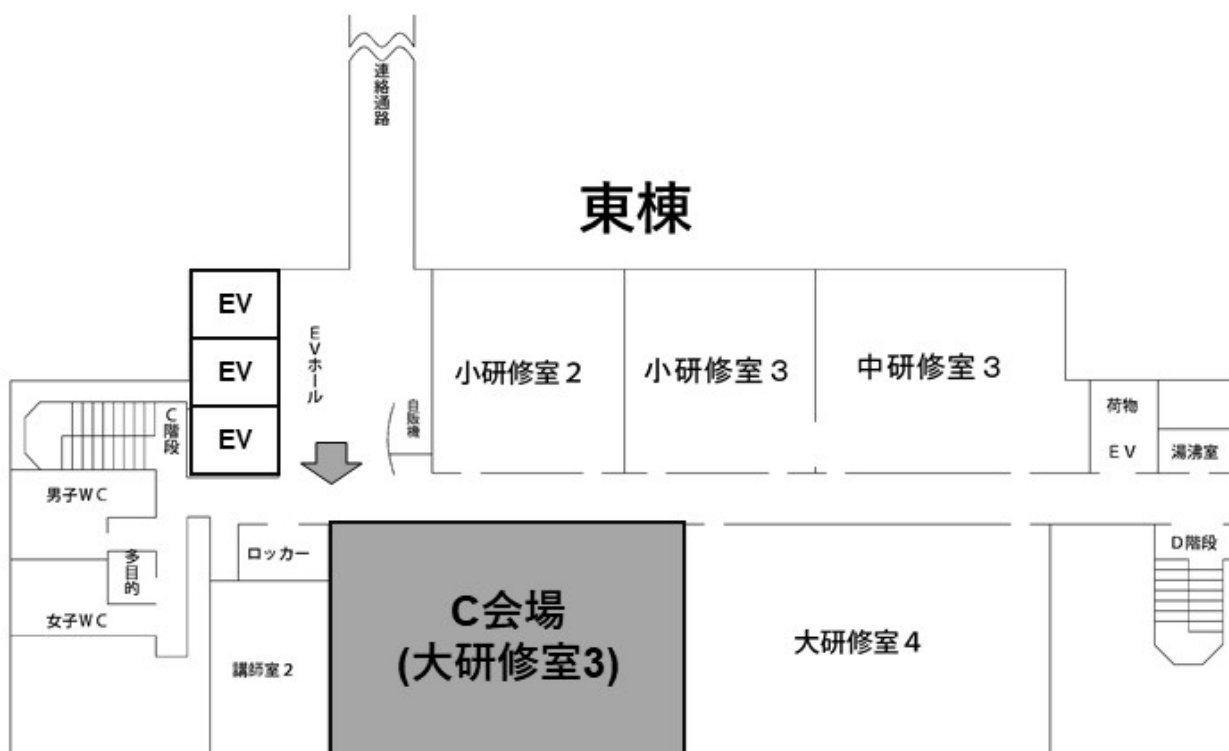


会場案内

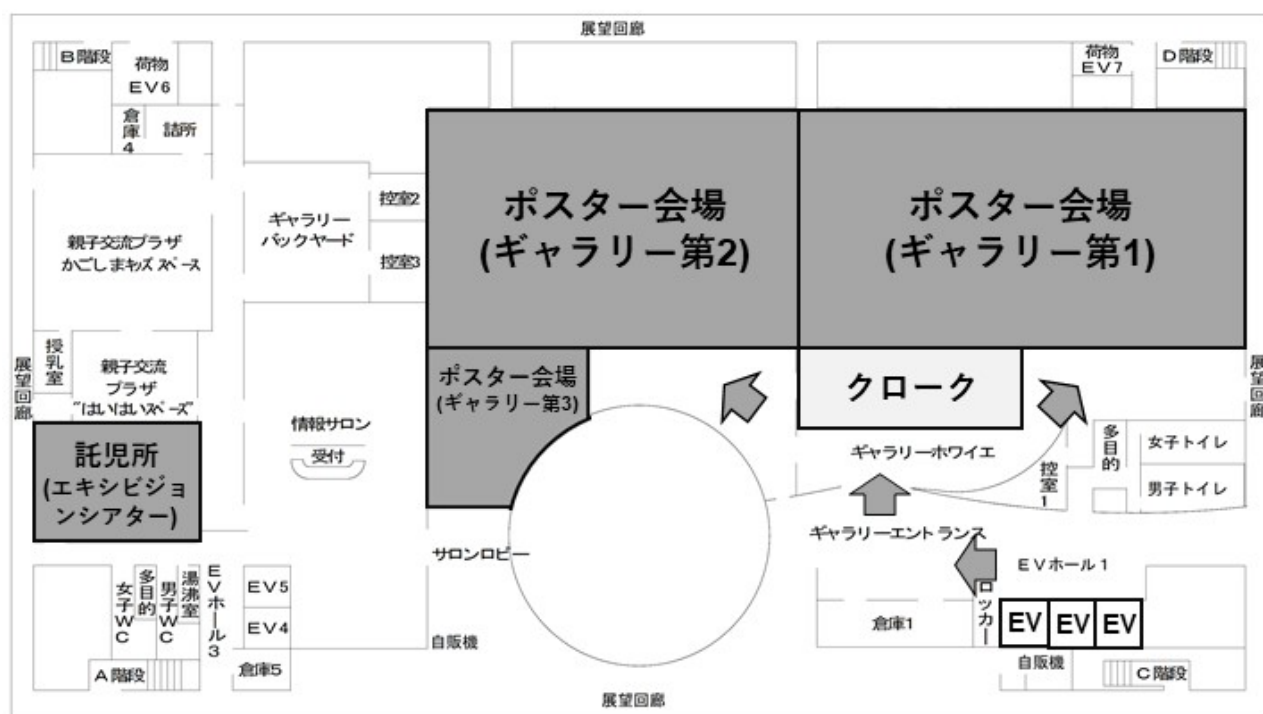


2F

A会場：大ホール
B会場：中ホール
県民ホール
企業展示
受付



4F C会場：大研修室 3



6F ポスター会場：ギャラリー
託児所：エキシビジョンシアター
クロック

口頭発表者の方へ

発表時間

- ・口頭発表 A の割り当て時間は 25 分です。講演 20 分、質疑 5 分程度です。
- ・口頭発表 B の割り当て時間は 15 分です。講演 12 分、質疑 3 分程度です。

発表形式

- ・発表は Power Point などによる PC プレゼンテーション（スライドサイズ 4：3）です。
- ・発表者ご自身のパソコンをご持参のうえ、会場に設置されたプロジェクターに接続して映写していただきます。操作はご自身でお願いいたします。レーザーポインターは会場の演題上にございます。

- (1) ミニ D-sub15 ピンにてプロジェクターに接続可能なパソコンと AC アダプターをご持参ください。

プロジェクターの接続に必要なアダプターが必要な機種では、専用アダプターもご用意ください。



- (2) パソコン設定は以下の点にご注意ください。

- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定（スリープ、ディスプレイ電源オフなど）は事前に解除してください。
- ・バッテリーは十分な充電をお願いします。

発表者の受付および試写

- ・発表者は発表するセッションの開始 10 分前までにご自身の PC を各会場の PC 受付（ステージ）までお持ちください。
- ・試写をご希望される方は、お早めに発表会場の受付までお越しください。
- ・講演者の発表が始まりましたら次演者席での待機をお願いします。
- ・発表終了後は、ご自身の PC、AC アダプターなど忘れずにお持ち帰りください。
- ・ご持参の PC に異常が生じた場合に備えて、発表用ファイルをコピーした USB メモリーなどご持参ください。問題が生じた場合は、お早めに受付までご連絡ください。

遠隔による発表者の方

- ・口頭発表は Zoom での配信と会場での同時映写をいたします。
- ・年会 HP のマニュアルをよくご確認ください。

ポスター発表者の方へ

掲示期間 10月27日（水）9：00～10月29日（金）16：00

※指定されたポスター番号のボードに3日間掲示してください。

ポスター撤去 10月29日（金）16：00～17：40

※最終日17：40以降残っているポスターは撤去後処分いたします。

討論時間 奇数番号 10月27日（水）13：00～14：50

偶数番号 10月29日（金）13：00～14：50

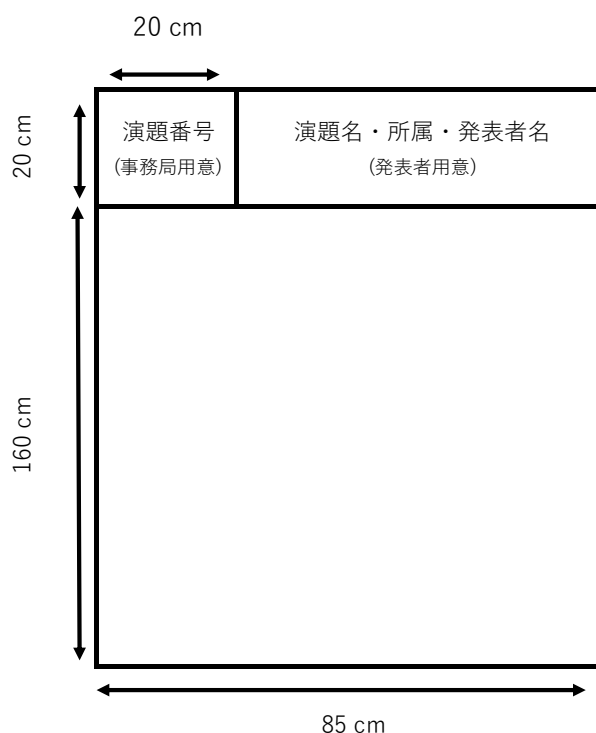
※討論時間帯はご自身のポスター前に待機し、発表・討論を行ってください。

※各会場で一人約5分間のショートスピーチ（ポスターを利用して効率よく時間厳守で説明してください。）を行っていただき、Zoomで同時配信します。

詳細は年会HPをよくご確認ください

会場 ポスター会場6階：ギャラリー1、2、3

- (1) 演題番号は年会事務局で用意します。
- (2) 発表内容とは別に、演題名、演題者名（発表者に○印）、所属を記入したものを
をご用意ください。（右図参照）
- (3) ボードに貼ってある両面テープをお使い
ください。演者リボンをつけて発表し
てください。
- (4) ポスターサイズは右図のとおりです。
（高さ 180 cm × 幅・85 cm、A0 版推奨）
- (5) ポスター賞受賞対象となるポスターには
その旨を示すマークを事務局で準備します。



遠隔による発表者の方

- ・印刷体のポスターを利用したショートスピーチの動画ファイルを入れたDVDディスク（mp4形式で動画ファイルとして保存：P-XXX.mp4）と印刷されたポスターを鹿児島に送っていただき、提示いたします。ショートスピーチの時間帯に動画をZoom配信します。
- ・年会HPのマニュアルをよくご確認ください。

託児所について

ポスター会場の近く（6F）に託児所を設置します。

予約方法などの詳細は年会 HP をよくご確認ください。

第 40 回日本糖質学会年会 開催支援団体への御礼

<賛助・協賛・協力団体>

一般財団法人杉山産業化学研究所

インターマン株式会社

公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会

公益財団法人サントリー生命科学財団

公益財団法人水谷糖質科学振興財団

<広告掲載団体>

株式会社スティックスバイオテック

株式会社糖鎖工学研究所

正晃株式会社

東京化成工業株式会社

ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社

宝来メデック株式会社

<展示団体>

株式会社ケミカル同仁

株式会社島津製作所

株式会社スティックスバイオテック

株式会社糖鎖工学研究所

株式会社伏見製薬所

住友ベークライト株式会社

ブルカー・ジャパン株式会社

(五十音順)

展示企業の方へ

プレゼンテーションの時間

- ・プレゼンテーションは各企業 10 分で行っていただきます。
 - ・年会 HP のマニュアルをよくご確認ください。
- ※各プレゼンテーションは Zoom で同時配信します。

場所

- ・企業展示会場の各企業のブース前

日時

10 月 27 日

- 12:10-12:20 株式会社ケミカル同仁
- 12:20-12:30 株式会社島津製作所
- 12:30-12:40 株式会社スティックスバイオテック

10 月 28 日

- 12:10-12:20 株式会社糖鎖工学研究所
- 12:20-12:30 株式会社伏見製薬所

10 月 29 日

- 12:10-12:20 住友ベークライト株式会社
- 12:20-12:30 ブルカーージャパン株式会社

第 40 回日本糖質学会年会

組織委員

組織委員(50 音順)

石橋 洋平 (九州大学)

大坪 和明 (熊本大学)

加藤 健太郎 (長崎大学)

角田 佳充 (九州大学)

新地 浩之 (鹿児島大学)

竹川 薫 (九州大学)

平井 剛 (九州大学)

三浦 佳子 (九州大学)

伊東 信 (九州大学)

沖野 望 (九州大学)

神田 大輔 (九州大学)

塩崎 一弘 (鹿児島大学)

隅田 泰生 (鹿児島大学)

畠山 智充 (長崎大学)

藤田 清貴 (鹿児島大学)

若尾 雅広 (鹿児島大学)

世話人代表：隅田 泰生

事務局担当：若尾 雅広、新地 浩之、内野 るみ、宮田 裕子

事務局：鹿児島大学 大学院理工学研究科 工学専攻

化学生命工学プログラム 生体分子コンジュゲート部門 (隅田研究室) 内

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40

Tel/Fax：099-285-8369

E-mail：jm-suda@cb.kagoshima-u.ac.jp

次年度 第 41 回日本糖質学会年会のお知らせ

会 期：令和 4 年 (2022 年) 9 月 29 日～10 月 1 日

会 場：大阪大学コンベンションセンター

世話人代表：三善 英和 (大阪大学)

日程表

10月27日(水)					10月28日(木)					10月29日(金)							
県民 ホール	A会場 (大ホール)	B会場 (中ホール)	C会場 (大研修室3)	ポスター 会場	県民 ホール	A会場 (大ホール)	B会場 (中ホール)	C会場 (大研修室3)	ポスター 会場	県民 ホール	A会場 (大ホール)	B会場 (中ホール)	C会場 (大研修室3)	ポスター 会場			
優秀講演 賞第2次 審査																	
	優秀講演 賞第2次 審査			ポスター 掲示		糖鎖の 生合成 と分解	合成2	診断・ 治療	ポスター 掲示		神経・ 脳	機能解析 4	糖鎖 インフォ マティク ス	ポスター 掲示			
								合成3		糖鎖と がん							
	免疫・ 感染・ 生体防御		合成1	機能解析 2							糖鎖の 機能制御 -2	糖鎖異常 と病態	撤去				

県民 2階県民ホール
 A会場 2階大ホール
 B会場 2階中ホール
 C会場 4階大研修室3
 ポスター会場 6階ギャラリー第1、第2、第3

プログラム

優秀講演賞第2次審査 10月27日

A会場（大ホール） 9:00-11:45

座長：平林淳（名古屋大学）、鈴木匡（理化学研究所）

- 9:00 **1A-01 筋組織の再構築を指向した α -マンノシルグリカン の系統的合成**
○田村 敬裕¹、大村 優華²、田村 純一^{1,2}（¹鳥取大院・連大農²鳥取大院・農）
- 9:25 **1A-02 化学的糖鎖挿入による糖タンパク質精密合成**
○野村 幸汰¹、真木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、佐藤 あやの³、梶原 康宏^{1,2}
（¹阪大院理、²阪大院理・基礎理学プロジェクトセンター、
³岡山大・ヘルスシステム統合科学研究科）
- 9:50 **1A-03 分裂酵母における全ガラクトース転移酵素の機能解析**
○福永嵩大¹、田中直孝²、古本敏夫²、中北愼一³、大橋貴生⁴、樋口裕次郎¹、前川
裕美¹、竹川薫¹（¹九大院・生資環、²香川大・農、³香川大・医、⁴摂南大学・理工）
- 10:30 **1A-04 魚類のユニークな糖鎖生合成および分解経路とそれに関わる遺伝子の多様性**
○本田晃伸¹、塩崎一弘²、鈴木匡¹（¹理研・開拓研究本部、²鹿大・水産）
- 10:55 **1A-05 ブドウ糖代謝組織におけるヘパラン硫酸の役割について**
○松澤 拓郎、横山 眞理子、谷内 一彦、吉川 雄朗（東北大・院医・機能薬理）
- 11:20 **1A-06 金触媒反応によって変換される Epoc 保護基の開発**
○山本 智也¹、張 宗哲¹、田中 克典^{1,2,3}
（¹理研 CPR、²東工大物質理工、³カザン大 A.ブートレロフ研）

奨励賞受賞講演 10月28日

県民ホール 13:00-15:15

座長：加藤 晃一（自然科学研究機構）、蟹江 治（東海大学）

13:05 **2S-P1 糖鎖リガンドによる軸索再生阻害機構の解明**

○坂元 一真^{1,2}（¹名大・糖鎖生命コア、²名大院・医）

13:25 **2S-P2 高等動物における N 型糖鎖のマンノース切除を基軸とした小胞体関連分解機構の解析**

○蛭川 暁¹、Ginto George¹、矢木 宏和²、住友 嘉樹¹、真木 勇太³、
石川 時郎¹、佐久間 哲史⁴、山本 卓⁴、今見 考志⁵、石濱 泰⁵、
梶原 康宏³、加藤 晃一^{2,6}、岡田 徹也¹、森 和俊¹
（¹京大院理、²名市大院薬、³阪大院理、⁴広大院理、⁵京大院薬、⁶ExCELLS）

13:45 **2S-P3 糖鎖の創発的な免疫調節機能に迫るケミカルバイオロジー研究**

○真鍋良幸^{1,2}
（¹大阪大学大学院理学研究科、²大阪大学基礎理学プロジェクトセンター）

座長：平林 淳（名古屋大学）、鈴木 匡（理化学研究所）

14:05 **2S-P4 O-GlcNAc glycan の発見と分子機能・生物学的意義の解明**

○小川光貴（名古屋大学（現 協和キリン株式会社））

14:25 **2S-P5 リピド A の化学合成が拓く細菌－宿主間ケミカルエコロジー**

○下山 敦史（阪大院理）

14:45 **2S-P6 シアル酸結合様式特異的な化学修飾による構造異性体識別法の開発**

○花松 久寿（¹北海道大学 大学院医学研究院 専門医学系部門
先端的糖鎖臨床生物学分野、²北海道大学 大学院医学研究院 消化器内科学教室
専門医学系部門 先端的糖鎖臨床生物学分野）

男女共同参画企画 10月28日

県民ホール 15:30-16:20

座長：隅田 泰生（鹿児島大学）

15:30 2S-G1 日本人女性研究者の意識改革－海外の女性研究者たちは－
塩井(青木) 成留実（福岡大学理学部）

特別講演 10月28日

県民ホール 16:30-17:20

座長：隅田 泰生（鹿児島大学）

16:30 2S-S1 生命科学の中のヒューマングライコームプロジェクト
門松健治（東海国立大学機構糖鎖生命コア研究所）

口頭発表 10月27日 A会場（大ホール）

セッション 「免疫・感染・生体防御」 15:20-17:40

座長：高瀬 明（創価大学）、沖野 望（九州大学）、石橋 洋平（九州大学）

- 15:20 1A-07 (A) **C型レクチン L-SIGN は肝類洞内皮細胞において SARS-CoV-2 の侵入受容体である**
○近藤 裕史^{1,2}、岡島 徹也¹、Lijun Xia² (¹名大医・分子細胞化学、²オクラホマ医学研究財団)
- 15:45 1A-08 (B) **グリコサミノグリカンアレイを用いた SARS-CoV-2 S タンパク質の糖鎖結合特異性の同定**
○渡邊 朋子¹、武田 晃²、比江森 恵子¹、南澤 俊和²、舘野 浩章¹ (¹産総研・細胞分子工学、²生化学工業)
- 16:00 1A-09 (B) **SARS-CoV-2 のガングリオシドラフトを介した細胞内取り込み**
○小松谷啓介¹、小倉潔¹、菊池紀仁¹、川島育夫¹、花田賢太郎²、長田直樹³、種子島幸祐⁴、原孝彦⁴、笠原浩二¹ (¹東京都医学研・細胞膜、²国立感染症研究所・品管部、³北海道大学・情報科学、⁴東京都医学研・幹細胞)
- 16:15 1A-10 (A) **ヒト H1 インフルエンザ A ウイルスの発育鶏卵での増殖に寄与するレセプター構造の解明**
○高瀬 明^{1,2}、一宮智美²、岡松正敏³、木下貴明^{2,4}、小林大樹³、市居 修³、山本直樹^{3,5}、迫田義博^{3,6}、喜田 宏⁶、川島博人⁷、山本一夫⁸、西原祥子^{1,2} (¹創価大 糖鎖生命システム融合研、²創価大院 理工、³北大院 獣医、⁴(現)長崎大 熱帯研、⁵(現)東京都医学研、⁶北大 人獣共通感染症国際共同研、⁷千葉大院 薬学、⁸東大院 新領域創成科学)
- 16:40 (休憩)
- 16:55 1A-11 (B) **緑膿菌由来グルコシルジアシルグリセロール合成酵素の解析**
朱 浩賢¹、石橋洋平²、○沖野 望² (¹九大・院生資環・生命機能、²九大・院農・生命機能)
- 17:10 1A-12 (B) **シアリル化糖鎖を認識する免疫グロブリンの可変領域の解析**
○奥田徹哉¹、北村昌大²、笠原真二郎³、加藤且也² (¹産総研 生物プロセス、²日特-産総研 連携ラボ、³日本特殊陶業)

17:25 **1A-13 (B) ホスファチジルグルコシドは好中球ホメオスタシスに関与する**

○花房 慶¹、李 曉佳¹、堀田 知美¹、大嶋 恵理子¹、中山 仁志^{1,2,3}、
狩野 航輝⁴、松尾 一郎⁴、伊藤 拓夢⁵、上口 裕之⁵、平林 義雄⁵、
岩渕 和久^{1,2,3}

(¹順天堂大・環境医学研究所、²順天堂大・医療看護・生化学、³順天堂大・医療看護・感染制御、⁴群馬大・理工学、⁵理化学研究所・脳神経学研究センター)

口頭発表 10月27日 B会場 (中ホール)

セッション 「合成1」 15:20-16:30

座長：田村純一（鳥取大学）、今村 彰宏（岐阜大学）

15:20 **1B-01 (A) タンデムリビトールリン酸含有 O-マンノシルグリカンの系統的合成とその糖鎖機能**

○田村 純一¹、田村 敬裕¹、真鍋 法義²、大野 詩歩²、山口 芳樹²、
萬谷 博³、遠藤 玉夫³(¹鳥取大院・連大農、²東北医薬大・薬、³都健康長寿研・分子機構)

15:45 **1B-02 (B) コレステリル D-リボフラノシド骨格をもつ新規糖脂質の分子設計と利用技術の開発**

○大下亜久里¹、山内穂乃香¹、青野怜奈¹、土肥博史^{1,2}、西田芳弘^{1,2}(¹千葉大院・園芸学研究院、²千葉大学分子キラリティー研究センター)

16:00 **1B-03 (B) 合成終盤での糖脂質のシアリル化によるラクト系ガングリオシドプローブの合成**

○高橋 舞菜^{1,2}、河村 奈緒子³、田中 秀則^{2,3}、今村 彰宏^{1,2,3}、石田 秀治^{1,2,3,4}、
安藤 弘宗^{2,3}(¹岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・iGCORE、⁴岐阜大・G-CHAIN)

16:15 **1B-04 (B) ホウ素媒介アグリコン転移反応を用いた生物活性糖質の化学修飾法の開発**

○木村 公亮、安永 剛、高橋 大介、戸嶋 一敦（慶大・理工）

セッション 「機能解析 1」 16:45-17:45

座長：石渡 明弘（理化学研究所）、若尾 雅広（鹿児島大学）

- 16:45 **1B-05 (B) ビフィズス菌由来新規 $\text{exo-}\alpha\text{-D-fructo-furanosidase}$ ホモログの反応機構研究**
○石渡明弘¹、藤田清貴²、鹿島騰真³、伏信進矢^{3,4}、田中克典^{1,5,6}、伊藤幸成^{1,7} R(¹理研 CPR, ²鹿大農, ³東大院農生科, ⁴東大 CRIIM, ⁵東工大物質理工、⁶カザン大 A. Butlerov 研、⁷阪大院理)
- 17:00 **1B-06 (B) バイオ医薬品の α -グリカンの調製方法に関する研究**
○太田里子、荒井大河、矢崎啓寿、齋藤恵、田中祥徳（東レリサーチセンター）
- 17:15 **1B-07 (B) 腸管関連リンパ組織共生菌リポオリゴ糖部分構造の合成と機能解析**
○宇戸 智哉¹、山浦 遼生¹、松田 彩那¹、細見 晃司²、國澤 純²、下山 敦史^{1,3}、深瀬 浩一^{1,3} (¹阪大院・理、²医薬健栄研、³阪大院・理 PRC)
- 17:30 **1B-08 (B) 結核菌の殺菌回避に関わる $\alpha(1,2)$ マンナン(ManCap)の合成とその機能評価**
○村上 和哉¹、渡邊 真衣¹、花房 慶¹、中山 仁志²、岩淵 和久²、田中 浩士¹
(¹東工大・物質理工、²順大院医環境研)

口頭発表 10月27日 C会場（大研修室3）

セッション 「機能解析 2」 15:20-16:30

座長：長尾 匡憲（九州大学）、新地 浩之（鹿児島大学）

- 15:20 **1C-01 (A) 大腸菌膜タンパク質膜挿入に必須な糖脂質 MPlase の活性部分構造と作用機構の解明**
○藤川 紘樹¹、Han Youjung²、大澤 月穂¹、森 祥子¹、野村薫¹、西山 賢一²、島本 啓子¹ (¹サントリー生科財・生有研、²岩手大・農)
- 15:45 **1C-02 (B) インフルエンザウイルスと結合する糖鎖高分子の構造設計**
○長尾匡憲¹、松原輝彦²、星野友¹、佐藤智典²、三浦佳子¹ (¹九大院・工、²慶應大院・理工)

16:00 **1C-03 (B) NMR 法による GlcA/Xyl リピートとラミニンの相互作用様式の解析**
○真鍋 法義¹、大野 詩歩¹、田村 敬裕²、田村 純一²、萬谷 博³、遠藤 玉夫³、山口 芳樹¹ (¹東北医薬大・薬、²鳥取大院・連大農、³都健康長寿研・分子機構)

16:15 **1C-04 (B) 膜脂質成分に依存した GM3 糖鎖コンホメーションの固体 NMR 解析**
○佐々木克聡、梅川雄一、村田道雄、花島慎弥 (阪大院・理)

セッション 「機能解析 3」 16:45-17:50

座長：松浦 和則 (鳥取大学)、岡本 亮 (大阪大学)

16:45 **1C-05 (B) トリペプチドプローブによる細胞膜上のシアル酸の Turn-On 蛍光イメージング**
○松浦 和則¹、岡崎 瑞紀²、久本 晃一²、稲葉 央¹ (¹鳥取大 学術研究院、²鳥取大院 持続性社会創生科学)

17:00 **1C-06 (A) マンノシルエリスリトールリピッドの自己組織化特性と肌荒れ改善活性**
○近藤 孝則¹、安井 ちひろ¹、伴野 太祐¹、朝倉 浩一¹、牛丸 和乗²、古賀 舞都²、雑賀 あずさ²、福岡 徳馬²、森田 友岳²、高橋 大介¹、戸嶋 一敦¹ (¹慶大・理工、²産総研)

17:25 **1C-07 (A) タンパク質糖鎖水和殻による水の動的挙動**
○岡本 亮^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、芝田 大之¹、佐藤 あやの³、梶原 康宏^{1,2}
(¹阪大院理、²阪大院理・基礎理学プロジェクトセンター、³岡山大・ヘルスシステム統合科学研究科)

口頭発表 10 月 28 日 A 会場 (大ホール)

セッション 「糖鎖の生合成と分解」 9:00-11:55

座長：塩崎 一弘 (鹿児島大学)、藤田 清貴 (鹿児島大学)、
萬谷 博 (東京都健康長寿医療センター研究所)

9:00 **2A-01 (A) ゼブラフィッシュ胚の特徴的糖鎖とそのキャリアタンパク質の解析研究**
○長束 俊治、半澤 健、沢 空樹、深見 颯、山田 優真 (新潟大院・自然科学)

- 9:25 **2A-02 (B) メダカ CMP-シアル酸合成酵素の C-ドメインは酵素の安定化と個体の生存に重要である**
○呉迪^{1,2,3}、藤田明子¹、橋本寿史⁴、日比正彦⁴、成瀬清⁵、亀井保博⁵、
佐藤ちひろ^{1,2,3}、北島健^{1,2,3} (¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農学、³名大・iGCORE、⁴名大院・理、⁵基生研)
- 9:40 **2A-03 (B) コンドロイチン/デルマタン/ヘパラン硫酸の結合領域四糖の生合成に関わる b3galt6 のゼブラフィッシュ変異体におけるグリコサミノグリカンの定量**
○水本秀二¹、Sarah Delbaere²、Adelbert De Clercq²、Fredrik Noborn^{3,4}、Jan Willem Bek²、Lien Alluyn²、Charlotte Gistelincx⁵、Delfien Syx²、Phil L. Salmon⁶、Paul J. Coucke²、Göran Larson^{3,4}、山田修平¹、Andy Willaert²、Fransiska Malfait² (¹名城大・薬、²Ghent Univ., Ghent, Belgium、³Univ. Gothenburg, Gothenburg, Sweden、⁴Sahlgrenska University Hospital, Gothenburg, Sweden、⁵Univ. Washington, Seattle, USA、⁶Bruker, Kontich, Belgium.)
- 9:55 **2A-04 (A) 構造解析に基づく *O*-マンノース型糖鎖の生合成機構**
○萬谷博¹、今江理恵子¹、桑原直之²、田中智博³、露口正人²、水野真盛³、加藤龍一²、遠藤玉夫¹ (¹都健康長寿研・分子機構、²高エネ機構・物構研・構造生物、³野口研・糖鎖有機化学)
- 10:20 (休憩)
- 10:35 **2A-05 (A) GPI アンカー型タンパク質の選別輸送機構解明のための糖鎖構造解析**
○中の 三弥子、岡崎 康太 (広大院・統合生命科学)
- 11:00 **2A-06 (B) エンドグリコシダーゼを用いた遺伝子組換えカイコ由来ヒトリソソーム酵素の N 型糖鎖改変**
○篠田知果¹、西岡宗一郎¹、小林功^{2,6}、炭谷-笠嶋めぐみ^{2,6}、立松謙一郎^{2,6}、飯塚哲也^{2,6}、木下崇司³、三谷藍³、大石高生^{4,7}、兼子明久⁴、今村公紀^{4,7}、宮部-西脇貴子⁴、北川裕之⁵、灘中里美⁵、瀬筒秀樹²、伊藤孝司^{1,6,7}
(¹徳島大院薬、²農研機構、³(株)伏見製薬所、⁴京都大霊長類研、⁵神戸薬科大、⁶SeriRevo、⁷AMED TR-SPRINT, Seeds A)
- 11:15 **2A-07 (B) *B. bifidum* の 2 種の β -*N*-acetylglucosaminidase は協調的にムチンコア構造を分解する**
○高田紘翠、加藤紀彦、阪中幹祥、片山高嶺 (京都大学大学院生命科学研究科)

11:30 **2A-08 (A) 脳脊髄液中のトランスフェリン糖鎖異性体及びその mRNA・タンパク質の脳内における発現**

○橋本 康弘¹、安部 英理子²、不破 尚志²、星 京香²、村上友太³、小川 倫弘⁴、
赤津 裕康⁴、橋詰 良夫⁴、本多 たかし¹、伊藤 浩美² (¹福島医大・法医、
²福島医大・生化、³福島医大・脳外、⁴福祉村病院・神経病理)

口頭発表 10 月 28 日 B 会場（中ホール）

セッション 「合成 2」 9:00-10:25

座長：真木 勇太（大阪大学）、高橋 大介（慶應義塾大学）

9:00 **2B-01 (A) マイナー酸性糖鎖解析手法の開発と応用**

○山田 佳太（大阪大谷大学・薬学部）

9:25 **2B-02 (B) 複合型糖鎖を有する Cholera Toxin B-Subunit の化学合成と生細胞への導入**

○真木勇太^{1,2}、佐藤あやの³、川田一希¹、岡本亮^{1,2}、梶原康宏^{1,2} (¹阪大院理化学
専攻、²阪大院理 PRC、³岡大院ヘルスシステム統合科学)

9:40 **2B-03 (B) 樹状型グリコシル化法による高マンノース型糖鎖ライブラリーの構築研究**

○碓井 瑠智雄、樺澤 恵、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大・理工）

9:55 **2B-04 (B) 新規有機光ルイス酸触媒を用いた光グリコシル化反応の開発**

○大谷 直輝、東山 昂平、高橋 大介、戸嶋 一敦（慶大・理工）

10:10 **2B-05 (B) 架橋基を有する 1,4-無水糖の開環重合を用いた環状オリゴ糖合成の試み**

○熊谷 和真¹、若森 晋之介²、村上 慧¹、勝田 亮²、石神 健²
(¹関西学院大学・理学部、²東京農業大学・生命科学部)

セッション 「合成 3」 10:40-11:40

座長：野上 敏材（鳥取大学）、田中 浩士（東京工業大学）

10:40 **2B-06 (B) ADP リボース二量体 clickable 分子の直截的合成法開発**

○萩野瑠衣^{1,2}、河村奈緒子³、安藤弘宗^{2,3}、田中秀則^{2,3}
(¹岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・iGCORE)

- 10:55 **2B-07 (B) 電解グリコシル化重合によるオリゴ糖合成**
○野上敏材¹、黒田佳奈²、吉田真弓³、Md Azadur Rahman⁴、遠藤大史²、
越智雅治³ (¹鳥取大工 GSC セ、²鳥取大院持続性社会創生、³鳥取大工、
⁴鳥取大院工)
- 11:10 **2B-08 (B) 水系 PET-RAFT 重合による糖鎖高分子ライブラリの合成と分子認識能の解析**
○植村 剛志、長尾 匡憲、星野 友、三浦 佳子 (九大院・工)
- 11:25 **2B-09 (B) *N*-グリコリルノイラミン酸含有糖鎖の合成研究**
○竹内悠貴、東田和樹、田中浩士 (東工大物質理工)

口頭発表 10 月 28 日 C会場 (大研修室3)

セッション 「診断・治療」 9:00-10:05

座長：北爪 しのぶ (福島県立医科大学)、大坪 和明 (熊本大学)

- 9:00 **2C-01 (A) NGLY1 欠損症の早期診断法開発に向けた解析 -内在性 NGLY1 活性の測定法の確立およびバイオ マーカー候補分子の検討-**
○平山弘人¹、立田由里子¹、藤縄玲子¹、朝比奈誠²、鈴木匡¹
(¹理研・鈴木糖鎖代謝生化学、²武田薬品・T-CiRA ディスカバリー)
- 9:25 **2C-02 (A) グリオーマの診断マーカー候補、可溶性プロテインチロシンホスファターゼ sPTPRZ1**
○北爪しのぶ¹、山ノ井 優²、星 京香³、長井健一郎²、三浦里織¹、
橋本康弘³、本多たかし³、藤井正純² (¹福島医大・保健科学部、²福島医大・
脳神経外科、³福島医大・医学部)
- 9:50 **2C-03 (B) 臨床 O-グライコプロテオミクスによる大腸がん O-型糖鎖修飾タンパク質の探索**
○高倉 大輔¹、我妻 孝則^{2,3}、大橋 祥子¹、小林 規俊⁴、廣島 幸彦⁴、
徳久 元彦⁴、市川 靖史⁴、川崎 ナナ¹ (¹横浜市大院・生命、²慶大・医、
³バイオインダストリー協会、⁴横浜市大院・医)

セッション 「糖鎖とがん」 10:20-11:45

座長：佐藤 ちひろ（名古屋大学）、原田 陽一郎（大阪国際がんセンター）

- 10:20 **2C-04 (A) ポリシアル酸転移酵素が B16 マウスメラノーマ細胞の悪性形質に与える影響の解析**
荒木 映莉乃^{1,2}、畑中 理菜^{1,2}、羽根 正弥^{1,2,3}、呉 迪^{1,2,3}、北島 健^{1,2,3}、
○佐藤 ちひろ^{1,2,3}（¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農、³名大・iGCORE）
- 10:45 **2C-05 (B) シンデカン-1 を利用した Basal-like 型乳がん細胞の巧みな増殖戦略**
○灘中 里美、北川 裕之（神薬大・生化）
- 11:00 **2C-06 (B) トリプルネガティブ乳がんにおける NGLY1 の役割**
○藤平 陽彦^{1,2}、堀本 義哉³、鈴木 匡¹（¹理研・CPR・鈴木糖鎖代謝生化学、
²順天堂大院・医学研究科・糖鎖創薬、³順天堂大・乳腺腫瘍学）
- 11:15 **2C-07 (B) がん患者における尿中遊離糖鎖の変化の解析**
○半澤 健、岡本 三紀、村上 博子、宮本 泰豪
（大阪国際がんセ・研・分子生物）
- 11:30 **2C-08 (B) 細胞外小胞を介したがん宿主との相互作用における N 型糖鎖修飾の役割**
○原田陽一郎、貫戸紀子、谷口直之
（大阪国際がんセンター 研究所 糖鎖オンコロジー部）

口頭発表 10 月 29 日 A 会場（大ホール）

セッション 「神経・脳」 9:00-10:10

座長：渡辺 俊（北里大学）、羽根 正弥（名古屋大学）

- 9:00 **3A-01 (A) 脳血管新生を調節するアグリカン型プロテオグリカンの役割**
○水谷 健一¹、田村 優希¹、齋尾 真吾¹、榎谷 晃明²、
アルナシリ イダマルゴダ²、市橋 正光¹
（¹神戸学院大・院薬、²一丸ファルコス・開発部）

- 9:25 **3A-02 (B) 炎症性疼痛における脊髄スルファチドの機能**
○渡辺 俊^{1,2}、森田 元樹^{1,2}、尾山 実砂^{1,2}、岩井 孝志^{1,2}、田辺 光男^{1,2}
(¹北里大学薬学部薬理学, ²北里大学薬学部附属医薬研究施設)
- 9:40 **3A-03 (B) シナプスの可塑的な形態変化におけるヘパラン硫酸微細構造の役割**
○神村 圭亮、小田嶋 愛子、丸山 千秋
(東京都医学総合研究所・脳神経回路形成プロジェクト)
- 9:55 **3A-04 (B) ヒト特異的に脳内ミクログリア細胞に発現する Siglec-11 の性質**
○羽根正弥^{1,2,4}、北島 健^{1,2,3}、佐藤ちひろ^{1,2,3}、Ajit Varki⁴
(¹名大院・生命農、²名大・生物機能セ、³名大・iGCORE、⁴CMM, UCSD)

セッション 「糖鎖の機能制御-1」 10:25-11:45

座長：樺山 一哉（大阪大学）、佐藤 あやの（岡山大学）

- 10:25 **3A-05 (A) 蛍光標識化糖脂質プローブを用いた細胞膜糖脂質の動態解析**
○樺山一哉^{1,2}、新井健太³、蟹江治⁴、蟹江善美⁴、深瀬浩一^{1,2}
(¹阪大・院理・化学、²阪大・院理・PRC、³情通研・未来 ICT、⁴東海大・工)
- 10:50 **3A-06 (A) 個々の細胞の糖鎖と RNA を同時解析する技術(scGR-seq)の開発**
○小高陽樹¹、箕嶋文¹、尾崎遼²、舘野浩章^{1,2,3}
(¹産総研・細胞分子工学、²筑波大・医学医療系、³JST さきがけ)
- 11:15 **3A-07 (B) ゴルジ体の構造変化により糖鎖修飾は変化するのか？**
○佐藤 あやの（岡大院・ヘルスシステム統合科学）
- 11:30 **3A-08 (B) N型糖鎖の成熟化により GlcNAc 転移酵素 GnT-V の分泌は制御される**
○平田哲也¹、高田実咲²、中の三弥子²、木塚康彦¹
(¹岐阜大・糖鎖生命コア研究所、²広大院・統合生命科学研究科)

セッション 「糖鎖の機能制御-2」 15:20-17:00

座長：岡島徹也（名古屋大学）、加藤健太郎（長崎大学）

- 15:20 **3A-09 (B) コンドロイチン硫酸プロテオグリカンのバイオマテリアルとしての有用性**
○榎谷 晃明^{1,2}、水谷 健一³、山田 修平⁴、丹羽 雅之²
(¹一丸ファルコス・開発、²岐阜大・医、³神戸学院大・院薬、⁴名城大・薬)

- 15:35 **3A-10 (B) 希少糖鎖をもつ糖脂質の合成と細胞毒性**
○齋藤 里花子¹、モハメッド シェイク モハメッド^{1,2}、中島 義賢³、
前川 透^{1,2}、水木 徹^{1,2} (¹東洋大院・学際融合、²東洋大・BNERC、
³阪大・INSD)
- 15:50 **3A-11 (A) Focal adhesion kinase (FAK)の O-GlcNAc 修飾による細胞接着斑の形成と細胞機能の制御**
○伊左治 知弥、大山 嘉順、孫 玉涵、黒田 喜幸、福田 友彦、顧 建国
(東北医科薬科・薬・分生研・細胞制御)
- 16:15 **3A-12 (B) Psme3 の O-GlcNAc 化による P ボディ形成の調節はマウス胚性幹細胞の多能性を制御する**
○小倉千佳¹、フェデリコ・ペコリ¹、近藤菜々子²、三浦太一¹、糸優彦³、
南島陽平³、山本一夫³、西原祥子^{1,2,4} (¹創価大院・工、²創価大・理工、
³東大・創域、⁴創大・糖鎖研)
- 16:30 **3A-13 (B) NOTCH1 EGF リピートの包括的な O-GlcNAc グリコプロテオミクスによる O-GlcNAc 化のためのシーケンスの洗練化とルイス X エピトープの同定**
○岡島徹也^{1,2}、塚本庸平²、小川光貴^{1,2}、与儀賢太郎²、竹内英之^{1,2,3}
(¹名大 院・医・生化2、²名大 iGCORE、³静岡県大 院・薬)
- 16:45 **3A-14 (B) NOTCH 上のシアリルラクトース様構造の発見**
○塚本庸平¹、青木一弘²、成松由規³、浦田悠輔¹、齊木颯¹、Michael Tiemeyer²、
Henrik Clausen³、岡島徹也^{1, 4}、竹内英之^{1, 4, 5}
(¹名大 院・医、²ジョージア大 CCRC、³コペンハーゲン大 CCG、⁴名大 iGCORE、
⁵静岡県大 院・薬)

口頭発表 10月29日 B会場（中ホール）

セッション 「機能解析4」 9:00-10:25

座長：戸谷希一郎（成蹊大学）、木下 充弘（近畿大学）

- 9:00 **3B-01 (A) 小胞体の exo-作用型 α -1,2-Mannosidase 群は endo-グリコシド結合様式を識別する**
○戸谷 希一郎、新田 恭平、栗原 大輝（成蹊大・理工）

- 9:25 **3B-02 (B) フコイダン類縁体の合成と SARS-CoV-2 スパイクタンパク質に対する結合活性**
 ○小池 樹¹、杉本 葵¹、小菌 脩平¹、駒場 澄香¹、菅野 優子¹、
 北村 貴士¹、安齋 樹²、渡辺 登喜子²、高橋 大介¹、戸嶋 一敦¹
 (¹慶大・理工、²阪大・微研)
- 9:40 **3B-03 (B) Siglec を標的とした免疫抑制を誘導する糖鎖高分子の開発**
 ○石田 尚斗、長尾 匡憲、星野 友、三浦 佳子 (九大院・工)
- 9:55 **3B-04 (B) マイクロチップ電気泳動法による *N*-グリカンの高スループットスクリーニング**
 ○木下充弘¹、曾我部有司²、坂本 泉³
 (¹近畿大薬、²(株)島津製作所、³(株)アクロスケール)
- 10:10 **3B-05 (B) 蛍光標識二本鎖複合型糖鎖プローブを用いた ENGase の活性検出**
 ○石井 希実、永田 光穂、高垣 智迪、佐野 加苗、佐藤 樹、高橋 諭、
 江橋 竜二、松尾 一郎 (群馬大院・理工)

セッション 「合成4」 10:40-11:50

座長：水野 真盛 (野口研究所)、平井 剛 (九州大学)

- 10:40 **3B-06 (B) PEG 化 2 糖オキサゾリン誘導体を用いた抗体 薬物複合体(ADC)前駆体の合成**
 ○水野真盛¹、後藤浩太郎¹、森昌子¹、月村亘¹、大隅賢二¹、弘瀬友理子¹、
 筒井正斗¹、黒河内政樹¹、石田秀樹²、松崎祐二²、高田美生¹
 (¹(公財)野口研、²東京化成工業)
- 10:55 **3B-07 (B) 超好熱菌 *Thermococcus kodakarensis* 由来 *N*-グリカンの構造決定および合成**
 ○平尾 宏太郎¹、真鍋 良幸¹、跡見 晴幸²、Antonio Molinaro³、Cristina De Castro³、
 深瀬 浩一¹ (¹阪大院・理学、²京大院・工学、³University of Napoli Federico II)
- 11:10 **3B-08 (B) グリコシルボロン酸を用いた 2-デオキシ-C-グリコシド誘導体の α -選択的合成法の開発**
 ○竹田大樹、安富弘樹、千馬鈴華、寄立麻琴、平井剛 (九大院薬)
- 11:25 **3B-09 (A) 直接 C-グリコシル化による代謝耐性型複合糖質アナログ合成**
 ○平井剛¹、森山貴博¹、小野俊介¹、千馬鈴華¹、木谷憲昭¹、寄立麻琴¹、
 加藤直樹²、高橋俊二³ (¹九大院薬、²摂南大農、³理研 CSRS)

セッション**「糖鎖異常と病態」****15:20-16:55**

座長：村上 良子（大阪大学）、三村 雄輔（山口宇部医療センター）

- 15:20 **3B-10 (A) ケラタン硫酸型グライコミメティクスによる COPD 治療効果の分子作用メカニズムの解明**
○大川祐樹¹、貫戸紀子¹、中の三弥子²、藤縄玲子³、木塚康彦⁴、原田陽一郎¹、田村純一⁵、谷口直之¹（¹大阪国際がんセ・糖鎖オンコロ、²広島大・統合生命、³理研・糖鎖代謝生化学、⁴岐阜大・G-CHAIN、⁵鳥取大・生命環境農学）
- 15:45 **3B-11 (A) 静注用免疫グロブリンの抗炎症作用は Fc のガラクトシル非フコシル化により増強する**
○三村雄輔¹、三村由香¹、Radka Saldo²、Pauline M. Rudd²、Roy Jefferis³（¹山口宇部医療センター、²NIBRT、³University of Birmingham）
- 16:10 **3B-12 (B) UGGT2 はホスファチジルグルコシドを産生し低酸素による細胞ストレスから回避する**
○洪 慧馨¹、池田和貴²、上口裕之¹、平林義雄³（¹理研・脳神経科学研究セ、²かずさ DNA 研究所、³理研・開拓研究本部）
- 16:25 **3B-13 (B) St6galnac3,4 遺伝子ダブルノックアウトマウスはリンパ節で出血する**
○布施谷清香、濱野彩音、鈴木陸、村上由佳、和泉裕之、高橋智、工藤崇（筑波大・解剖発生）
- 16:40 **3B-14 (B) GPI アンカー型タンパク質の第 2 マンノース を介した結合の発見：PIGG 欠損症の発症原理**
○村上 良子^{1,2}、真木 勇太^{3,4}、木下 タロウ^{1,2}（¹阪大微研、²阪大 IFRc、³阪大院理化学、⁴阪大院理 PRC）

口頭発表 10 月 29 日 C 会場（大研修室 3）**セッション****「糖鎖インフォマティクス」****10:00-11:45**

座長：鈴木 詔子（新潟大学）、木下 聖子（創価大学）

- 10:00 **3C-01 (A) 糖鎖を考慮したエピトープ予測**
○李 秀栄¹、水口 賢司^{1,2}（¹医薬健栄研、²阪大蛋白研）

10:25 **3C-02 (A) 全ヒト糖鎖関連遺伝子 Variant の網羅的抽出と解析**

○西原祥子¹、木下聖子¹、梶谷内晶¹、細田正恵¹、伊藤和義¹、山口芳樹²、真鍋法義²、大野詩歩²、稲森啓一郎²、井ノ口仁一²、灘中里美³、北川裕之³、城田松之⁴、木下賢吾⁴（¹創価大学 糖鎖生命システム融合研究所、²東北医科薬科大学 分子生体膜研究所、³神戸薬科大学、⁴東北大学 東北メディカル・メガバンク機構）

10:50 **3C-03 (A) 欲張りな N-グリコミクス**

○鈴木詔子（新潟大・院・自然研）

11:15 **3C-04 (B) 糖鎖科学ポータル GlyCosmos 2021**

○山田一作¹、塩田正明²、高橋悠志²、新町大輔³、小野多美子²、土屋伸一郎¹、松原正陽¹、木村直貴¹、瀬野瑛⁴、細田正恵²、藤田昌大²、金進東⁵、岡谷千晶³、久野敦³、藤田典昭³、安形清彦³、梶裕之³、成松久³、奥田修二郎⁴、木下聖子²（¹（公財）野口研、²創価大、³産総研、⁴新潟大、⁵DBCLS）

11:30 **3C-05 (B) 糖鎖パスウェイの解析ツール GlycoSim および GlycoMaple**

○木下聖子^{1,2}、曾我部勇¹、荒川康一¹、藤田盛久³
（¹創価大・工学研究科、²創価大・糖鎖研、³江南大）

ポスター発表（掲示：10月27日～29日）

奇数 10月27日、偶数 10月29日 13:00～15:10

P-001 糖鎖構造抽出ソフトウェアの開発

○松原 正陽¹、山田 一作¹、木下 聖子²（¹（公財）野口研、²創価大）

P-002 Ganglioside GD2 enhances malignant properties of melanomas by co-operating with integrins

○Farhana Yesmin^{1,2}、Robiul H. Bhuiyan²、Yuhsuke Ohmi²、Momoka Horiuchi²、Tetsuya Okajima¹、Satoko Yamamoto²、Kei Kaneko²、Keiko Furukawa²、Koichi Furukawa^{1,2}（¹Dept. of Mol. Biochem, Nagoya Univ. Grad. Sch. of Med.、²Dept. of Biomed. Sci., Chubu Univ. College of Life and Health）

P-003 血液凝固第XII因子のムチン型糖鎖修飾は接触活性化を抑制する

○齋田 茉帆¹、中村 澄香¹、有森 貴夫⁴、高木 淳一⁴、相川 京子^{2,3}
（¹お茶大院・人間文化・理学、²お茶大・基幹研究院、³お茶大・ヒューマンライフイノベーション研究所、⁴阪大・蛋白質研究所）

P-004 ヒトおよびトリ VMO1 の分子特性

○阿部友希¹、安田紹子¹、福谷優理¹、相川京子^{2,3}
（¹お茶の水大院・人間文化・理学、²お茶の水大・基幹研究院、³お茶の水大・ヒューマンライフイノベーション研究所）

P-005 血清 N-及び O-グライコプロテオミクスプラットフォームの開発

○向 武志、高倉 大輔、大橋 祥子、川崎 ナナ（横浜市大院・生命）

P-006 乳がん臨床検体由来 LAMP1 の部位特異的糖鎖構造解析

○大橋祥子¹、高倉大輔¹、吉田晴香¹、小林規俊²、廣島幸彦²、徳久元彦²、市川靖史²、川崎ナナ¹（¹横浜市大院・創薬再生科学、²横浜市大院・医）

P-007 α -synuclein の簡易調製法の確立と遊離糖鎖のアミロイド線維形成阻害活性

○小坂 将太、前田 恵、木村 吉伸（岡山大学大学院 環境生命科学研究科）

P-008 皮膚内部空間に形成されるグリコサミノグリカンの濃度勾配

○伊藤 健太郎、Liu Yunlin、江連 智暢（株式会社 資生堂 みらい開発研究所）

P-009 SialoCapper™-ID Kit と MS による SARS-CoV2 受容体 ACE2 糖鎖のシアル酸結合様式判別

○犬塚ま子、西風隆司、阪下七海、船津慎治、緒方是嗣（島津製作所）

P-010 フコース転移酵素 FUT8 の機能制御における OST の役割

○富田晟太¹、平田哲也²、木塚康彦^{1,2}（¹岐阜大院 自然科学技術、²岐阜大 iGCORE）

P-011 Bisecting GlcNAc による組織特異的な HNK-1 生合成の制御

○川出 遥加¹、森瀬 譲二²、Sushil K. Mishra³、辻岡 修太²、岡 昌吾²、
木塚 康彦^{1,4}（¹岐阜大院・自然科学技術、²京大院・医・人間健康、³Glycosci.Center, Univ Mississippi、⁴岐阜大・iGCORE）

P-012 大豆タンパク質における O-マンノース型糖鎖の存在の検討

○竹中 綾貴¹、高橋 知里¹、北口 公司^{1,2}、矢部 富雄^{1,2,3}
（¹岐阜大院自科技・生命科学、²岐阜大応生科・応用生命、³G-CHAIN）

P-013 OS9、XTP3B による小胞体関連分解の制御は分解基質の構造異常の度合いに依存する

○松下 和智¹、蜷川 暁¹、杉本 岳大¹、岡田 徹也¹、石川 時郎¹、
佐久間 哲史²、山本 卓²、森 和俊¹（¹京大院理、²広大院統合生命）

P-014 機能未知糖脂質 EG および AEG の増加により誘導される病原性真菌の細胞死の分子機構

○永井 正義^{1,2}、石橋 洋平^{1,2}、渡邊 昂^{1,2,3}、沖野 望^{1,2}、伊東 信^{1,2}
（¹九大・院農・生命機能、²AMED-CREST、³川崎医大・病態代謝）

P-015 *Sphingomonas paucimobilis* 由来のスフィンゴ糖脂質の解析とその合成酵素の同定

○伊東佳穂¹、石橋洋平²、沖野 望²
（¹九大・院生資環・生命機能、²九大・院農・生命機能）

P-016 Sialyl-Tn 抗原による細胞外小胞分泌促進を介した細胞外小胞受容細胞の運動能制御

○長尾恵介¹、細見夏純¹、四位一平¹、伊藤瑠架¹、森岡海人¹、前田賢人¹、
大坪和明^{1,2}（¹熊大院 保健学教育部、²熊大院 生命科学研究部）

P-017 糖鎖フラグメントに対応した糖鎖構造描画ツール SugarDrawer の開発

○土屋伸一郎¹、松原正陽¹、山田一作¹、木下聖子²（¹（公財）野口研、²創価大）

P-018 希少糖 D-アロースに対してヒトヘキシナーゼ3は高い酵素活性を持つ

○塚本 郁子^{1,2}、井上 圭介¹、前川 聖¹、神鳥 和代^{1,2}、徳田 雅明²、
吉田 裕美^{1,2}、神鳥 成弘^{1,2}（¹香川大・医、²香川大・国際希少糖研究教育機構）

P-019 新規 Endo- α -mannosidase の遺伝子探索に向けた蛍光基質の開発の試み

○小山 亮祐¹、平山 弘人¹、松田 次代¹、田中 克典²、Daniel Varon Silva³、
鈴木 匡¹ (国立研究開発法人理化学研究所 開拓研究本部 ¹鈴木糖鎖代謝生化学
研究室、²田中生体機能合成化学研究室、³Univ. of Applied Science and Arts,
Northwestern Switzerland (Basel))

P-020 ヒトラクトフェリンはコンドロイチン硫酸 E による軸索伸長阻害を中和する

○中村真男¹、佐藤淳²
(¹佐々木研究所 ペプチドミクス研究部、²東京工科大学 応用生物学部)

P-021 *Edwardsiella piscicida* におけるシアリル化の亢進が病原性に与える影響

○Vo Khanh Linh¹、Tran Thi Nhung²、小松正治^{1,2}、塩崎一弘^{1,2}
(¹鹿児島大・連合農学・応用生命科学、²鹿児島大・水産・食品生命科学)

P-022 双節型核局在シグナルはカラシン目 Neu4 の核局在に必須である

○兵頭 駿希¹、本田 晃伸^{1,2}、小松 正治¹、塩崎 一弘¹
(¹鹿児島大・水・食品生命、²理研・開拓研究本部)

P-023 Neu1 シアリダーゼはグリア細胞活性化を介して不安時の興味探索行動を制御する

○池田麻美¹、久保友理奈²、山崎千春²、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
(¹鹿児島大院・連合農学・応用生命化学、²鹿児島大・水・食品生命)

P-024 TAG Classifier:機械学習によるカテゴリ分類とバイオマーカー探索

○三浦信明¹、花松久寿²、古川潤一²、篠原康郎³
(¹新潟大院医歯、²北大院医、³金城学院大薬)

P-025 アルツハイマー病モデルマウス小胞体の糖鎖プロファイル再構成

○粕谷 未夢、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大理工)

P-026 新規エンドマンノシダーゼ活性における候補タンパク質の関与の証明

○上川原 有紀、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大理工)

P-027 糖鎖抗原を認識する抗体の可変部遺伝子配列の決定と人工抗体の作製

○築地 信¹、稲垣 優希¹、吉田 昌宏¹、石村 彰識¹、河村 桂輔¹、獅子原 弘樹¹、
秋山 智洋¹、伝田 香里²、入村 達郎²、中尾 広美³、川寄 伸子³、川寄 敏祐³
(¹星薬大薬、²順天堂大医、³立命館大学)

P-028 母乳に含まれる *N*および *O*結合型糖鎖の非標識 LC/MS による相対定量

○山口敏幸¹、福留博文¹、樋口淳一¹、高橋朋樹²、辻森裕太²、上野宏^{1,2}、
鳥羽保宏²、酒井史彦¹ (¹雪印メグミルク (株) ミルクサイエンス研究所、
²雪印ビーンスターク (株) 商品開発部)

P-029 C型レクチン受容体群発現細胞における免疫応答のクロストーク

○ジョンソン エマリー^{1,2}、大川祐樹¹、前田賢人¹、北野真郷^{1,2}、貫戸紀子¹、
原田陽一郎¹、三善英知²、谷口直之¹ (¹大阪国際がんセンター研究所
・糖鎖オンコロジー部、²阪大院・医・生体病態情報科学)

P-030 カイコ由来 *N*-アセチルガラクトサミン転移酵素の生化学的解析

○梶浦裕之、宮内亮輔、覚道明美、大橋貴生、三崎亮、藤山和仁
(阪大・生物工学国際交流センター)

P-031 GDP-fucose transporter は、フコシル化ハプトグロビンの産生に最も重要である

○坂田菜摘¹、森下康一¹、林原歩武¹、高松真二¹、近藤純平¹、鎌田佳宏¹、
鈴木 貴²、三善英知¹ (¹阪大・院医、²阪大・MMDS)

P-032 プロハプトグロビンは炎症性腸疾患の病態生理に関わる機能的バイオマーカーである

○林原歩武¹、本岡 湊¹、森下康一¹、高松真二¹、新崎信一郎²、近藤純平¹、
竹原徹郎²、三善英知¹ (¹阪大・院医・生体病態情報科学、²消化器内科学)

P-033 フコシル化によりプロハプトグロビンの分解が抑制される分子機構に関する検討

○長尾妃万里¹、本岡 湊¹、森下康一¹、高松真二¹、近藤純平¹、三善英知¹
(¹阪大・院医・生体病態情報科学)

P-034 腫瘍微小環境における Mac-2bp の機能の検討

○西村陸大¹、小松未稀¹、福岡智哉¹、高松真二¹、近藤純平¹、鎌田佳宏²、
三善英知¹ (¹阪大・院医・生体病態情報科学講座、²阪大・院医・生体物理工学講座)

P-035 マウス肝がん発症に関わるコアフコース標的分子の探索

○上田美薫¹、高松真二¹、金澤優里¹、近藤純平¹、鎌田佳宏²、三善英知¹
(¹阪大・院医・生体病態情報科学、²阪大・院医・生体物理工学講座)

P-036 アストロサイトに発現するガングリオシドの機能解析と近傍分子の同定

○佐藤詩歩¹、北浦洋子²、伊藤多佳子²、田島織絵^{1,2}、小谷典弘³、本家孝一⁴、
古川圭子^{1,2}、河原敏男^{1,2}、古川鋼一^{1,2}、大海雄介² (¹中部大・院生命健康・
生命医科 ²中部大・生命健康 ³埼玉医科大・医・生化 ⁴高知大・医・生化学)

P-037 がん由来エクソソーム上に発現するガングリオシドのがん微小環境への影響

○大海雄介¹、Li Qi²、山本聡子²、北浦洋子¹、伊藤多佳子¹、佐藤詩歩²、金子 慶²、
神戸真理子²、イエスミン ファーハナ^{2,3}、田島織絵²、
モハンマド A ハスナット²、古川圭子²、古川鋼一^{2,3}
(¹中部大・生命健康科学・臨床工学、²中部大・院生命健康・生命医科
³名大・院医・2 生化)

P-038 ガングリオシド GD3 は細胞外分泌小胞におけるインテグリン発現を増強し、機能する

○金子 慶¹、大海 雄介²、神戸 真理子¹、ファーハナ イエスミン³、山本 聡子¹、
北浦 洋子²、伊藤 多佳子²、田島 織絵¹、古川 鋼一^{1,3}、古川 圭子¹
(¹中部大・生命健康科学・生命医科学、²中部大・生命健康科学・臨床工学、
³名大・院医・分子細胞化学)

P-039 ヒト大腸癌細胞による糖脂質発現と機能の解析

○堀内萌々花¹、橋本登³、大海雄介²、山本聡子¹、北沢裕昭¹、Yesmin Farhana⁴、
田島織絵¹、古川圭子¹、古川鋼一¹ (¹中部大・生命健康科学・生命医科学、
²臨床工学、³徳島大学 歯学部、⁴名大・医学部)

P-040 *Entamoeba histolytica* IgI1 レクチンの分子サイズは培養条件により異なる

○加藤 健太郎^{1,2}、花松 久寿³、古川 潤一³、畠山 智充⁴、橘 裕司⁵
(¹長崎大・熱研、²長崎大・TMGH、³北大・院・医、⁴長崎大・工・生体分子化学、
⁵東海大・医)

P-041 質量分析用糖鎖組成推定 Web ソフト MS ASSETs Glycan の開発

○村瀬 雅樹¹、西風 隆司²、山田 賢志¹、岩本 慎一¹、田中 耕一¹
(¹島津製作所・質量分析研、²島津製作所・GADC)

P-042 *Lactobacillus plantarum* の細胞壁テイコ酸に依存したファゴサイトーシスによるマクロファージの活性化

○細川 伸¹、小島 匠平¹、横田 伸一²、小島 直也¹、黒田 康弘¹
(¹東海大学工学部生命化学科、²札幌医科大学医学部)

P-043 リポソームの小腸パイエル板での取込みに関する研究

○宮下宙¹、千葉朋希²、清水佳隆³、黒田泰弘³
(¹東海大院・工、²東京医科歯科大・システム発生再生、³東海大・工)

P-044 発生期の脳皮質で形成されるヒアルロン酸を含む細胞外マトリックスの解析

○武淵 明裕夢¹、武智 美奈²、佐藤 ちひろ³、北島 健³、北川 裕之⁴、宮田 真路¹
(¹東京農工大・農、²名大院・生命農、³名大・糖鎖生命コア、⁴神戸薬大・生化)

P-045 うつ病発症に伴うコンドロイチン硫酸損傷機構の解明

○伊藤利沙子、大橋美咲、吉岡寿倫、星谷美桜、山田大輔、斎藤顕宜、東恭平
(東京理大薬)

P-046 SLC35A3 の O-GlcNAc 修飾は IV-型糖鎖の β 1,4-GlcNAc 分岐を制御する

○宋万里¹、伊左治 知弥¹、中の 三弥子²、福田 友彦¹、顧 建国¹
(¹東北医科薬科大学 薬学科 細胞制御学、²広島大学 大学院統合生命科学研究科)

P-047 ヤギ及びシロオリックスの初乳に含まれるミルクオリゴ糖の構造研究

○岡本 有紀也¹、堀内 里沙^{1,2}、浦島 匡³、宮西 伸光^{1,2}
(¹東洋大院・食環境、²東洋大・食環境、³畜産大・畜産)

P-048 偶蹄目由来ミルクオリゴ糖の網羅的構造解析

○富井 健至¹、堀内 里紗¹、浦島 匡²、宮西 伸光¹
(¹東洋大院・食環、²帯畜大・畜産)

P-049 HILIC-ESI-MS/MS による希少糖ヌクレオチドの探索

○中嶋和紀¹、木下充弘²、星雅人³、高橋和男⁴ (¹藤田医科大・研究支援、²近畿大・薬、³藤田医科大・医療検査、⁴藤田医科大・医・解剖学 II)

P-050 GM2 ガングリオシドーシスにおける Lyso スフィンゴ糖脂質の病態生理学的役割

○中江 隆豊¹、辻 大輔^{1,4}、渡邊 綾佑¹、大西 恭弥^{1,4}、山本 圭²、沖野 望³、伊東 信³、伊藤 孝司^{1,4} (¹徳大院・薬、²徳大院・理工、³九大院・農、⁴AMED ACT-M)

P-051 IV型糖鎖付加のヒトノイラミニダーゼ 1 細胞内結晶化への影響

○月本 準¹、竹内 美絵²、五百磐俊樹¹、堀井雄登¹、西岡宗一郎¹、伊藤孝司^{1,2}
(¹徳島大院薬 創薬生命、²徳島大学薬 創薬生命)

P-052 Tg カイコ繭由来ヒト CTSA の欠損症モデルマウス末梢臓器への補充効果

○竹内美絵¹、堀井雄登²、瀬筒秀樹^{3,5}、小林功^{3,5}、笠嶋めぐみ^{3,5}、立松謙一郎^{3,5}、飯塚哲也^{3,5}、原園景⁴、石井明子⁴、伊藤孝司^{1,2,5} (¹徳島大薬、²徳島大院薬、³農研機構、⁴国立衛研、⁵SeriRevo)

P-053 多発性硬化症患者および疾患モデルマウスにおける脱髄関連アストロサイトの出現

○高橋 一人¹、兼清 健志²、金井 数明³、松田 希³、井口 正寛³、北爪 しのぶ¹
(¹福島医大・保健科学、²藍野大学・中央研究、³福島医大・脳神経内科)

P-054 細菌由来デアミノノイラミン酸特異的シアル酸ピルビン酸リアーゼの発見と基質認識解析

○中川貴博^{1,2}、岩木佑弥^{1,2}、呉迪^{1,2,3}、羽根正弥^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2,3}、北島健^{1,2,3}
(¹名大・生物機能セ、²名大・生命農学、³名大・糖鎖生命コア研究所)

P-055 O型糖鎖修飾の異常を検出して NOTCH 受容体の発現を制御する機構の解析

○田嶋優子^{1,2}、中川考一郎³、芳賀裕介³、岡島徹也^{1,2}
(¹名大院・医、²名大・iGCORE、³名大・医)

P-056 脊椎動物種間におけるポリシアル酸転移酵素 St8Sia2 のキメラ化による酵素活性の比較

○村井 良^{1,2}、羽根正弥^{1,2,3}、呉 迪^{1,2,3}、北島 健^{1,2,3}、佐藤ちひろ^{1,2,3}
(¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農、³名大・iGCORE)

P-057 メダカの生存に必須な α 2,6-シアル酸残基をもつ糖タンパク質の存在証明

○大本敬之^{1,2}、呉迪^{1,2,3}、橋本寿史⁴、日比正彦⁴、羽根正弥^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2,3}、北島健^{1,2,3} (¹名大院・生命農学、²名大・生物機能セ、³名大・iGCORE、⁴名大院・理)

P-058 血清中遊離糖鎖の研究

○黄 澄澄¹、清野 淳一¹、藤平 陽彦¹、佐藤 敬子¹、中家 修¹、中家 修一²、鈴木 匡¹ (¹理研・開拓研究本部、²島津製作所)

P-059 グリコサミノグリカン依存的な p53 凝集体伝播機構とその癌病態への寄与

西辻和親¹、○池崎みどり¹、岩橋尚幸²、井篁一彦²、内村健治³、井原義人¹
(¹和歌山県医大・医・生化、²和歌山県医大・医・産婦、³仏国立科学研究センター・リール大・糖鎖構造機能研)

P-060 Involvement of *N*-acetylneuraminase lyase in *Edwardsiella piscicida* pathogenicity

○Vo Khanh Linh¹、Tran Thi Nhung²、小松正治^{1,2}、塩崎一弘^{1,2}
(¹鹿児島大・連合農学・応用生命科学、²鹿児島大・水産・食品生命科学)

P-061 抗体医薬品に対する遊離 N型糖鎖の構造解析例の紹介

○石川菜津美、川瀬直樹、上田さとみ、平倉穰 (アステラス製薬・物性研)

P-062 糖転移酵素 GnT-V の糖タンパク質基質認識機構の解明

○大須賀玲奈¹、平田哲也²、長江雅倫³、木塚康彦^{1,2}
(¹岐阜大院・自然科学、²岐阜大・糖鎖生命コア、³阪大・微研)

P-063 C2C12 細胞の筋分化に C 型糖転移酵素 DPY19L3 がもたらす影響

○森 研人、孫 洪鎧、清水 史郎（慶大・理工）

P-064 シアル酸結合様式特異的誘導体化法を用いたヒト血漿タンパク質の糖ペプチド解析

○津元裕樹¹、西風隆司²、梅澤啓太郎¹、川上恭司郎¹、早川禎宏²、三浦ゆり¹、
遠藤玉夫¹（¹東京都健康長寿医療センター研究所、²島津製作所）

P-065 銀ナノ粒子および二酸化チタンナノ粒子を曝露したメダカ腸管の糖鎖構造解析

○堀内 里紗^{1,4}、小澤 美香¹、富井 健至¹、柏田 祥策^{2,3,4}、宮西 伸光^{1,4}
（¹東洋大・食環境、²カミ商事株式会社、³東洋大・生命、⁴東洋大・生環研セ）

P-066 病原性細菌における付着因子 FimH アドヘシンと糖鎖間相互作用解析

○能登 香（北里大学 一般教育部）

P-067 シアル酸転移酵素 ST8Sia6 による悪性癌形質の制御機構の解明

○畑中理菜^{1,2}、荒木映莉乃^{1,2}、羽根正弥^{1,2}、呉迪^{1,2}、北島健^{1,2,3}、佐藤ちひろ^{1,2,3}
（¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農、³名大・iGMED and iGCORE）

P-068 バクテロイデス属細菌由来 ENGase の基質特異性の解析

○高島 晶、黒河内政樹、大隅賢二、水野真盛、高田美生、松田昭生
（（公財）野口研）

P-069 C2 位 *N*-イミドオキシ官能基の隣接基関与を利用した 1,2-trans 選択的グリコシル化

○浅野剛志¹、宇田川太郎²、河村奈緒子³、安藤弘宗³、田中秀則³
（¹岐阜大・応用生物、²岐阜大・工、³岐阜大・iGCORE）

P-070 ポリ ADP リボース分岐構造の合成

○茂崎恵太¹、萩野瑠衣^{1,2}、河村奈緒子³、安藤弘宗^{2,3}、田中秀則^{2,3}
（¹岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・iGCORE）

P-071 二環性シアル酸を利用した $\alpha(2,9)$ ポリシアル酸の合成研究

○加藤 雅大¹、白崎 淳哉²、河村 奈緒子²、田中 秀則²、今村 彰宏^{1, 2}、
石田 秀治^{1,2,3}、安藤 弘宗²（¹岐阜大・応用生物、²岐阜大・iGCORE、
³岐阜大・G-CHAIN）

P-072 完全な立体選択性を示す Kdo α -グリコシド化法の開発研究

○濱島将伍^{1,2}、野口晴佳³、河村奈緒子⁴、田中秀則^{2,4}、今村彰宏^{1,2}、石田秀治^{1,2,4,5}、
一柳剛³、安藤弘宗^{2,4}（¹岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³鳥取大・農、
⁴岐阜大・iGCORE、⁵岐阜大・G-CHAIN）

P-073 ストレプトマイセス属細菌が産生する α 結合トリリボフラノシドの合成

○岡 夏央^{1,2,3}、十市 優斗¹、神藤 優花¹、安藤 香織¹

(¹岐阜大・工、²岐阜大・G-CHAIN、³岐阜大・iGCORE)

P-074 ケラターゼ II 固定化フローマイクロリアクターによる糖転移反応の検討

○伊藤 佑妃、沼田 圭司、大前 仁 (京大院・工)

P-075 高親和性 Siglec-8 リガンドを目指したシアリル硫酸化 II 型オリゴ糖の化学—酵素合成

弓削汐里、沼田圭司、○大前 仁 (京大院・工)

P-076 平行および逆平行二本鎖セロビオース誘導体の合成

○吉留 雄太郎、上高原 浩 (京大院・農)

P-077 酵母細胞質中の遊離 O-型糖鎖の構造解析に向けた 5 糖アミノ酸合成

○佐藤 有花¹、佐藤 美咲²、佐野 加苗¹、石井 希実¹、松尾 一郎¹

(¹群馬大院・理工、²群馬大・理工)

P-078 非天然型 7 糖を有した糖ペプチドの合成と PNGase および ENGase での活性測定

○高橋 諭¹、石井 希実¹、佐野 加苗¹、高橋 剛¹、佐藤 匡史²、矢木 宏和²、
加藤 晃一^{2,3}、鈴木 匡⁴、松尾 一郎¹ (¹群大院・理工、²名市大院・薬、
³自然科学研究機構 ExCELLS、⁴理研)

P-079 GM1 結合性環状ペプチドのアミロイド β 凝集に対する阻害活性

○宮本 恵里花、中井 真子、西原 昌哉、松原 輝彦、佐藤 智典 (慶大理工)

P-080 GM1 模倣ペプチドの獲得のためのファージ提示法の改良

○吉田 颯子、松原 輝彦、佐藤 智典 (慶大理工)

P-081 ファージ提示法による SARS-CoV-2 スパイク糖タンパク質を認識するペプチドの探索

○鈴木 寧々、松原 輝彦、佐藤 智典 (慶大理工)

P-082 去勢抵抗性前立腺がん細胞の遊走能および上皮間葉転換に関与する O-グリカンの解析

○山本 大樹¹、小坂 威雄²、大家 基嗣²、佐藤 智典¹ (¹慶大院理工、²慶大医)

P-083 脂質部位に窒素官能基を有する脂質改変型 α -GalCer 誘導体の合成および機能解析

○末吉耕大¹、平田菜摘¹、柏原瑛美¹、岸惇一郎¹、井貫晋輔^{1,2}、松丸尊紀¹、
藤本ゆかり¹ (¹慶大理工、²京大院薬)

P-084 シアル酸模倣ペプチド修飾粒子を用いたインフルエンザウイルスの選択的検出

○山口 愛¹、久保 あかね¹、栗山 龍之介¹、松原 輝彦¹、大道寺 智²、中屋 隆明²、
佐藤 智典¹ (¹慶大理工、²京都府医大)

P-085 位置特異的な抗体薬物複合体を実現する糖鎖誘導体の合成と転移活性評価

○筒井正斗、後藤浩太郎、大隅賢二、濱元健太、弘瀬友理子、高島晶、水野真盛
((公財) 野口研)

P-086 ホエイプロテイン由来ジシアリルコア 1 型糖ペプチドの大量調製法

○黒河内政樹¹、小島侑也¹、八須和子¹、高島晶²、水野真盛¹
(¹ (公財) 野口研・糖鎖有機、² (公財) 野口研・糖鎖生物)

P-087 糖ペプチドを利用したウイルス検出用糖鎖アレイに関する研究

○中北慎一¹、中北ゆかり¹、栗原亮介²、平林 淳¹
(¹香川大・総合生命、²香川大・医)

P-088 色調変化を示す糖脂質型および糖修飾リポペプチド型超分子ヒドロゲルの開発

○堤尚輝¹、大住僚也²、石ヶ守あずみ²、伊藤亮孝³、池田将⁴、米山香織⁵、
和泉雅之^{1,2,6}、越智里香^{1,2,6} (¹高知大院・総合、²高知大・理、³高知工大院・工、
⁴岐阜大・工、⁵愛媛大院・農、⁶高知大・理工)

P-089 コアフコース認識レクチン PhoSL-ビオチンハイブリッドの化学合成

○藤坂優馬、和泉雅之 (高知大・理工)

P-090 新規ワンポット法による糖タンパクの化学合成と糖鎖の特異的水和の機能解明研究

○芝田大之¹、田中裕也¹、Donglin Zhao¹、真木勇太^{1,2}、梶原康宏^{1,2}、岡本亮^{1,2}
(¹阪大院理、²阪大院理・基礎理学プロジェクトセンター)

P-091 βメルカプトチロシン誘導体を利用した糖タンパク質 IL17F 半合成法の開発研究

○矢部 勇人¹、岡本 亮^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、梶原 康宏^{1,2}
(¹阪大院理、²阪大院理基礎理学プロジェクト研究センター)

P-092 糖鎖の機能解明に向けた IgG 抗体 Fc フラグメントの合成研究

○西川 晴美¹、真木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、梶原 康宏^{1,2}
(¹阪大院理、²阪大院理基礎理学プロジェクト研究センター)

P-093 糖タンパク質 MCP-1 の半合成研究

○奥田 暁¹、岡本 亮^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、梶原 康宏^{1,2} (¹阪大院理、
²阪大院理基礎理学プロジェクト研究センター)

P-094 スレオニン部位を利用した新規糖タンパク質半合成法の開発研究

○山田 大貴¹、真木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、梶原 康宏^{1,2} (¹ 阪大院理、
² 阪大院理基礎理学プロジェクト研究センター)

P-095 糖タンパク質 Interleukin-6 (IL-6)の半合成研究

○劉晏博¹、真木勇太^{1,2}、岡本亮^{1,2}、梶原康宏^{1,2}
(¹ 阪大院理、² 基礎理学プロジェクト研究センター)

P-096 生細胞表層への合成糖鎖の導入および糖鎖-レクチン相互作用の分子化学的解析

○三浦彩音¹、樺山一哉^{1,4}、真鍋良幸^{1,4}、三宅秀斗¹、白川明日香¹、初村洋紀¹、
山地俊之²、鈴木健一³、深瀬浩一^{1,4} (¹ 阪大院理・化、² 国立感染症研究所、
³ 岐阜大・G-CHAIN、⁴ 阪大院理・PRC)

P-097 *N*-グリコリルノイラミン酸含有シアリル Tn 抗原に結合する一本鎖抗体の開発

○橋口 允紀、吉松 幸美、松林 由眞、橋口 海斗、増永 成菜、新地 浩之、若尾 雅広、
伊東 祐二、隅田 泰生 (鹿児島大・院理工)

P-098 GlcNAc-IdoA 配列をもつヘパラン硫酸部分構造に関する合成研究

○早瀬 嶺磨、鮫島 健介、若尾 雅広、隅田 泰生 (鹿児島大院・理工)

P-099 グルコースとポリアミン類から誘導される終末糖化産物類縁体の生成と分析

○杉浦広季¹、森下雄太²、藤田智之^{1,3}、筒井歩^{1,3}
(¹ 信州大院総合理工、² 高崎健康福祉大健康福祉、³ 信州大農)

P-100 細胞内カルレティキュリン特異的な蛍光プローブの合成研究

○児島 大河、柴山 佳大、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)

P-101 化学的アプローチに立脚した新規小胞体エンドマンノシダーゼの探索

○栗原 大輝¹、平野 真²、Spencer J. Williams³、藤田 盛久⁴、伊藤 幸成^{5,6}、
戸谷 希一郎¹ (¹ 成蹊大・理工、² 安田女子大、³ メルボルン大、⁴ 江南大、⁵ 理研、
⁶ 大阪大)

P-102 2型糖尿病モデルラット小胞体を用いた再構成糖鎖プロファイルの獲得

○喜多 正樹、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大理工)

P-103 高マンノース型糖鎖の合成を志向した効率的な合成アプローチ

○比留川 達也、碓井 瑠智雄、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)

- P-104 糖尿病モデルラットにおける小胞体エンドマンノシダーゼ活性と Ces1d 発現の相関解析**
○平木 勲、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大理工）
- P-105 樹状型グリコシル化反応を利用した非天然高マンノース型糖鎖の合成研究**
○樺澤 恵、碓井 瑠智雄、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大・理工）
- P-106 小胞体エンド- α -マンノシダーゼ活性を検出する発蛍光性基質の合成研究**
○西脇 みどり、高橋 翔、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大理工）
- P-107 ENGase および PNGase に対する活性検出用糖鎖プローブの合成**
○齋藤 直暉、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大理工）
- P-108 糖タンパク質品質管理機構の解析に資する均一な糖鎖をもつ糖タンパク質の創製研究**
○石井 涼太、栗原 大輝、戸谷 希一郎（成蹊大理工）
- P-109 立体選択的アジドニトロ化およびグリコシル化を用いた α -GalNAc 含有糖鎖の合成**
○渡邊健吾¹、大野勇次¹、西尾洋祐¹、大野匠¹、西田芳弘^{1,2}、土肥博史^{1,2}
（¹千葉大学院園芸、²千葉大学 MCRC）
- P-110 オルト置換型フェニルチオ糖を用いた連続グリコシル化法の開発**
○吉村優花¹、大野勇次¹、杉橋葵¹、木村智文¹、西田芳弘^{1,2}、土肥博史^{1,2}
（¹千葉大院園芸、²千葉大 MCRC）
- P-111 チオエーテルを持つ糖受容体を用いた立体選択的グリコシル化の反応機構**
○田中萌瑛¹、須田栞¹、西田芳弘^{1,2}、土肥博史^{1,2}（¹千葉大院園芸、²千葉大 MCRC）
- P-112 メチレンブルーを用いたグリコサミノグリカンの検出**
○橋本 泰樹¹、内田 雅士¹、鈴木 貴明¹、石井 伊都子¹、岡本 悠佑²、
戸井田 敏彦³（¹千葉大学大学院薬学研究院、²国立医薬品食品衛生研究所、
³千葉大学予防医学センター）
- P-113 糖のスクアリル基修飾を基盤とする GPR55 及び UGGT 制御分子の開発**
○阿部 純平¹、Guy Adam T.^{2,3}、Ding Feiqing⁴、Greimel Peter³、平林 義雄⁵、
上口 裕之³、伊藤 幸成^{1,5}（¹阪大院理、²京大院生命、³RIKEN CBS、
⁴中山大學、⁵RIKEN CPR）

P-114 ミスフォールド型糖タンパク質 IL-8 の半合成研究

○ママヒット・ユゴヴィアンディ・プリマンダ¹、真木勇太^{1,2}、岡本亮^{1,2}、
梶原康宏^{1,2} (¹大阪大学大学院理学研究科化学専攻、²大阪大学大学院理学研究科
基礎理学プロジェクトセンター)

P-115 糖鎖アナログをもつエリスロポエチンの合成研究

○森口 達也、中村大地、真木 勇太、岡本 亮、梶原 康宏 (阪大院理)

P-116 新規保護様式を利用したフコース含有糖ペプチドの合成

安藤達也、○朝比奈雄也、北條裕信 (阪大・蛋白研)

**P-117 オオムギ由来モノガラクトシルモノリノレノイルグリセリドの合成と絶対立体配置
の決定**

○北山慎太郎¹、石原亨²、馬越葵²、一柳剛²
(¹鳥取大院持続性社会創生科学、²鳥取大農)

P-118 *Haemophilus influenzae* LPS のコア糖鎖ライブラリの合成

○服部朝渚¹、尾川周平¹、一柳剛^{1,2} (¹鳥取大院・持続性社会創成科学、²鳥取大・農)

P-119 β-グルカンの電解合成における保護基と支持電解質効果

○齋藤阿須香¹、石坂優依¹、小林丈泰²、渋谷章人³、野上敏材⁴
(¹鳥取大院持続性社会創生、²鳥取大工、³鳥取大院工、⁴鳥取大工 GSC セ)

P-120 ウシの軟骨組織と消化管に含まれるコンドロイチン硫酸の組成分析

○武田-奥田尚子¹、保坂善真²、田村純一¹
(¹鳥取大農・生命環境農、²鳥取大農・共同獣医)

P-121 糖加水分解酵素耐性を持つミニ GcMAF の合成研究

○神崎 浩太郎¹、本間 春城²、中込 雄万²、今峰 朋香²、関 穂乃香²、横山 佳堯²、
七海 美帆²、浅見 悠里¹、蟹江 善美³、片山 秀和^{1,2}、蟹江 治^{1,2}
(¹東海大院、²東海大工、³東海大技術共同管理室)

P-122 糖修飾シリカゲルを用いた官能基センシングに関する研究

○中村 彩乃¹、内田 司¹、嶋崎 花¹、蟹江 善美³、蟹江 治²
(¹東海大学大学院、²東海大学工学部、³東海大学 技)

P-123 グルコシルセラミドを用いた細胞内送達用キャリアーに関する研究

○高橋祐太¹、清水佳隆²、黒田泰弘² (¹東海大院・工、²東海大・工)

P-124 キヒトデ由来 GlcCer から調製したリポソームが PC-12 細胞の細胞膜流動性に与える影響

○荒井 健太郎¹、高橋裕太¹、清水佳隆^{1,2}、蟹江善美³、蟹江治^{1,2}
(¹東海大院、²東海大工、³東海大技術共同管理室)

P-125 ホタテ中腸腺に含まれる酸性糖鎖の構造解析

○大西正一¹、岡本悠佑²、戸井田敏彦³、東恭平¹
(¹東京理大薬、²国立衛研、³千葉大院薬)

P-126 核酸二重鎖結合性オリゴジアミノガラクトースの合成と性質評価

○白石ともみ¹、佐藤一樹¹、原倫太郎^{1,2}、和田猛¹
(¹東京理大院・薬、²東京医科歯科大院・医歯)

P-127 抗 iPS 細胞抗体 R-17F と lacto-*N*-fucopentaose I の相互作用解析

○大野 詩歩¹、齋藤 祐希¹、真鍋 法義¹、湯浅 徳行²、松崎 祐二²、築地 信³、
川崎 敏祐⁴、山口 芳樹¹ (¹東北医薬大薬、²東京化成工業、³星薬大薬、
⁴立命館大学)

P-128 GM3 および Gg3 糖鎖修飾バクテリアセルロースの合成と糖鎖間相互作用の評価

○飛渡瑞希¹、長谷川輝明² (¹東洋大院・生命、²東洋大・生命)

P-129 イミノ糖を基盤とした酸性 α -グルコシダーゼに対する選択的阻害剤のデザイン研究

○加藤 敦¹、中込 泉²、畑 瑞希¹、吉村 洸亮¹、名取 良浩³、吉村 祐一³、
広野 修一² (¹富山大病院薬、²北里大薬、³東北医薬大薬)

P-130 トレハロースの水和挙動に関する固体及び溶液 NMR 解析

○龍岡博亮¹、山口拓実^{1,2} (¹北陸先端大マテリアル、²名市大院薬)

P-131 UDP-ガラクトースの合成反応における立体選択性に対する塩添加の効果

宮川淳、○神谷岳児、山村初雄 (名工大院工)

P-132 糖ヌクレオチドの一段階合成を利用した UDP-GlcN3/GlcNAc の合成

○宮川 淳、宮崎 舜、神谷 岳児、山村 初雄 (名工大院・工)

P-133 パスポート配列の付加による糖タンパク質の特異的な糖鎖修飾のメカニズム

○山田梨乃¹、矢木宏和¹、戸島拓郎²、青木一洋³、本田怜奈³、矢木真穂^{1,3}、
足達俊吾⁴、加藤晃一^{1,3} (¹名市大・院薬、²理研・光量子工学研究セ、
³自然科学研究機構・生命創成探究セ、⁴産総研・細胞分子工学)

P-134 O-マンノシル化タンパク質検出ツールの開発に向けたプラディミシン誘導体化

○音田 昂志¹、小鹿 一¹、五十嵐康弘²、伊藤幸成^{3,4}、中川 優^{1,3,5}

(¹名大院・生命農、²富山県大・生工、³理研、⁴阪大院・理、⁵iGCORE)

P-135 プラディミシンと複合型糖鎖の相互作用解析

○藤井将人¹、小鹿一¹、五十嵐康弘²、伊藤幸成^{3,4}、中川優^{1,3,5}

(¹名大院・生命農、²富山県大・生工、³理研、⁴阪大院・理、⁵iGCORE)

P-136 フリップフロップ反応場の構築を目指した DPAGT1 基質の合成

○佐野 加苗¹、菊間 隆志¹、高橋 諭²、石井 希実²、松尾 一郎²、武田 陽一¹

(¹立命館大学 生命科学部、²群馬大学大学院 理工学府)

P-137 Phosphatidyl-β-D-glucoside の生合成機構を解明するための分子プローブの合成

○上嶋里菜¹、戸田奈穂子¹、Peter Greimel²、菊間隆志¹、武田陽一¹

(¹立命館院・生命科学、²理研)

P-138 CMP-Kdo の化学合成に向けた Kdo2 位の亜リン酸エステル化条件の検討

○米良優希、菊間隆志、武田陽一（立命館大院生命科学）

JSCR Newsletter（日本糖質学会会報）Vol. 25, 号外

2021年10月16日 発行

編集兼発行 日本糖質学会

会長 石田 秀治

〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-38-12

油商会館3F

TEL: 03-5642-3700

FAX: 03-5642-3714

JSCR Newsletter 編集委員会

石田 秀治

本家 孝一

蟹江 治